

平成21年(㊦)第152号 損害賠償請求控訴事件

控訴人 [REDACTED] 外2名

被控訴人 学校法人 [REDACTED] 医科大学 外2名

証 拠 説 明 書

2009年11月10日

名古屋高等裁判所 金沢支部 御中

控訴人ら代理人

弁 護 士 [REDACTED]

番号	標 目	作成者	立 証 趣 旨
甲B 67	『大腸癌取扱い規約〔 第6版〕』2～5頁、 8～18頁、38～4 1頁	大腸癌研究会 編 金原出版 (1998)	大腸癌の解剖学的事項、治療前 所見、手術所見、病期分類など。
68	田沢賢次ほか「骨盤内 臓全摘術」	外科診療57 巻 増刊号 (1995)	骨盤内臓全摘術。静脈系を損傷 した場合は圧迫止血を。
69	『標準外科学〔第10 』	小柳仁監修	DIC、偽性動脈瘤

	版)』106~108 頁、449~451頁	医学書院 (2004)	
70	『標準血液病学』24 5~249頁	池田康夫ほか 編集 医学書院 (2000)	DIC
71	『NEW 麻酔科学〔 改訂第3版)』439 ~451頁	剣物修ほか編 集 南江堂 (2001)	出血性ショック
72	『ホーム・メディカ 家庭医学館』2181 頁	小学館 (1999)	RBC、Hb、Ht。赤血球が 増加すると、血液はねばっこく、 流れにくくなること。
73	『今日の治療薬 解説 と便覧 2003』7 29~730頁	水島裕編集 南江堂	ミラクリッド。DICは適応に はなっていない、適応は出血性ショ ックなどであること。他方、同じ 蛋白分解酵素阻害薬のFOYやフ サンはDICが適応となっている こと。
74	『治療薬マニュアル 2006』710~7	高久史磨ほか 監修	”

	13頁	医学書院	
75	『医学大辞典〔第19版〕』162頁、658～659頁	南山堂 (2006)	IVR、TAE
76	『医学大辞典』157頁、673頁	医学書院 (2003)	”